



2010年12月21日

サンディック株式会社
東京都中央区八重洲1-4-22
代表取締役社長 富田 隆夫

OPSシートの新製品に関する発表

サンディック株式会社（DIC株式会社と旭化成ケミカルズ株式会社との出資会社）は、従来の2軸延伸ポリスチレンシート（BOPS）では成形困難であった深絞り成形品や、A-PET容器に対し大幅な軽量化が期待できるBOPS、サンディックシート[®]810を開発しました。

これまで、BOPSを成形する方法は、熱板成形といわれ、BOPSがヒーターを内蔵した熱板に接触し直接加熱される成形方法に限定されていました。平板である熱板は、BOPSを介し金型の反対面に設置されているため、凹型の金型に凸型のプラグを使用するプラグアシスト成形を採用することはできませんでした。このため、深絞り成形品が得がたく、成形品の品揃えに制約がありました。

サンディックシート[®]810は、輻射熱を使用した間接加熱法による成形法に対応が可能であり、熱板を使用する必要がないことからプラグアシスト成形が可能です。このため、例えばフタ用成形品を例にしますと、熱板成形では薄肉化しやすい天面周囲部をプラグの使用により厚肉とする事ができ、スチレン系樹脂の剛性を更に活かすことが可能となります。これにより、A-PET製容器に対し30%以上の薄肉軽量化が期待できます。

間接加熱法による成形が可能となったことから、無延伸のA-PET、HIPS、PP等のシートを成形していた成形機でも成形が可能であり、熱板成形機を保有していないお客様への展開も可能となりました。

以上

本件についてのお問合せ窓口
サンディック株式会社 業務部

TEL 03-5205-8667
